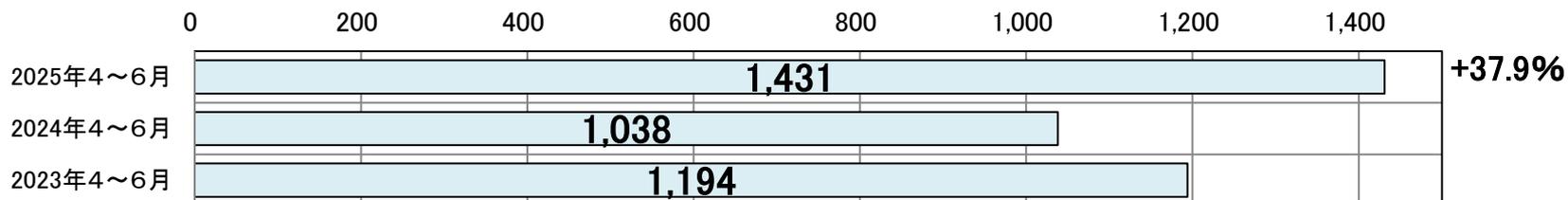


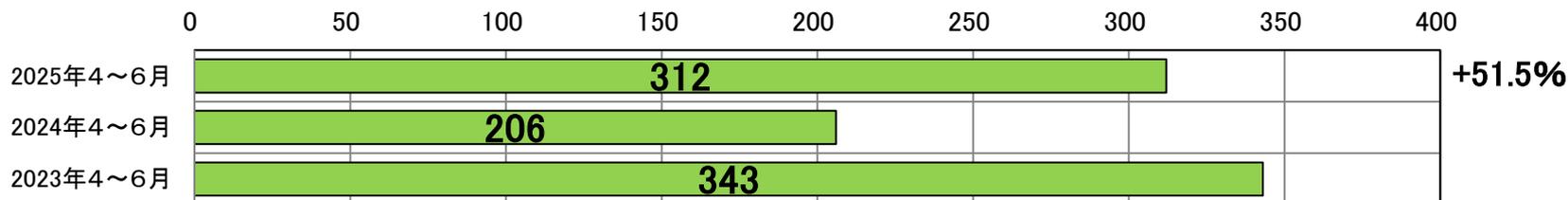
# 2025年度4～6月の相談、苦情、あっせんの状況について

## 1. 2025年度4～6月の相談、苦情、あっせん申立て件数

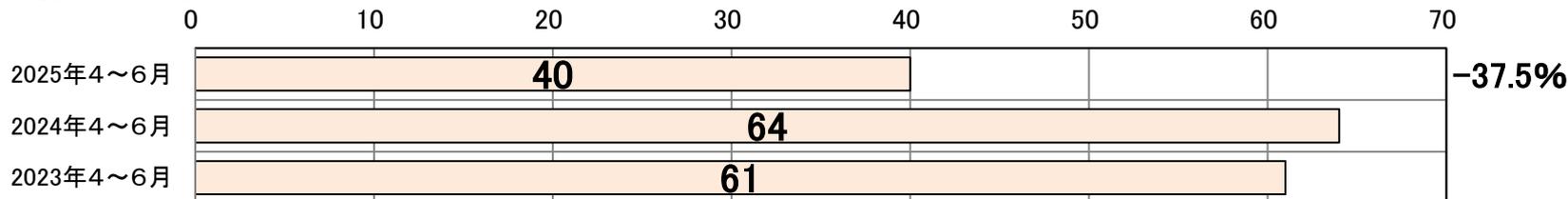
### ① 相談



### ② 苦情



### ③ あっせん申立て



概況：

前年同期に比べ、相談及び苦情の件数は大幅に増加（それぞれ+37.9%、+51.5%）したが、あっせん申立ての件数は大幅に減少（-37.5%）した。

## 2. 2025年度4～6月の相談、苦情、あっせん申立ての内容別内訳

### ① 相談

類 型	2025年4～6月		2024年4～6月	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
制度	372	26.0	339	32.7
うち証券会社	269	18.8	217	20.9
センター業務	41	2.9	51	4.9
取引制度	30	2.1	19	1.8
勧誘	45	3.1	44	4.2
うち説明義務	19	1.3	20	1.9
強引	14	1.0	10	1.0
適合性	8	0.6	9	0.9
売買取引	335	23.4	149	14.4
うち無断売買	178	12.4	9	0.9
売買一般	86	6.0	48	4.6
取引制度	43	3.0	62	6.0
事務処理	357	24.9	194	18.7
投資運用	8	0.6	5	0.5
投資助言	9	0.6	4	0.4
その他※	305	21.3	303	29.2
合 計	1,431	100	1,038	100

#### 概況:

前年度に比べて全類型で増加し、「売買取引」及び「事務処理」に関する相談は大幅に増加（対前年比はそれぞれ+186件・+124.8%、+163件・+84.0%）した。内容別内訳では、「事務処理」に関する相談（357件）が最も多く、「制度」の「証券会社」に関する相談（269件）、「売買取引」の「無断売買」に関する相談（178件）が続いた。※「その他」には、当センターの対象業務ではない事項に関する相談等を含む。

## 2. 2025年度4～6月の相談、苦情、あっせん申立ての内容別内訳

### ② 苦情

類 型	2025年4～6月		2024年4～6月	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
勧誘	60	19.2	73	35.4
うち説明義務	36	11.5	47	22.8
適合性	9	2.9	11	5.3
強引	9	2.9	5	2.4
売買取引	144	46.2	63	30.6
うち無断売買	66	21.2	11	5.3
売買一般	34	10.9	15	7.3
取引制度	20	6.4	14	6.8
事務処理	81	26.0	55	26.7
投資運用	1	0.3	1	0.5
投資助言	5	1.6	3	1.5
その他	21	6.7	11	5.3
合 計	312	100	206	100

### ③ あっせん申立て

類 型	2025年4～6月		2024年4～6月	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
勧誘	31	77.5	60	93.8
うち説明義務	17	42.5	48	75.0
適合性	10	25.0	9	14.1
誤った情報の提供	3	7.5	1	1.6
売買取引	9	22.5	4	6.3
うち過当売買	3	7.5	1	1.6
無断売買	2	5.0	1	1.6
その他	4	10.0	2	3.1
事務処理	-	-	-	-
投資運用	-	-	-	-
投資助言	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
合 計	40	100	64	100

概況：

苦情では「事務処理」に関するもの、売買取引における「無断売買」に関するもの、勧誘時の「説明義務」に関するものが多い状況であった。

あっせん申立てでは、勧誘時の「説明義務」に関するものが多い状況であった。

### 3. 2025年度4～6月の相談、苦情、あっせん申立ての商品別内訳

商品の種類	相談				苦情				あっせん申立て			
	2025年4～6月		2024年4～6月		2025年4～6月		2024年4～6月		2025年4～6月		2024年4～6月	
	件数	構成比 (%)										
株式	401	28.0	280	27.0	131	42.0	74	35.9	7	17.5	2	3.1
債券(仕組債を除く)	63	4.4	44	4.2	15	4.8	10	4.9	7	17.5	5	7.8
仕組債	3	0.2	15	1.4	13	4.2	47	22.8	12	30.0	53	82.8
投資信託	97	6.8	77	7.4	55	17.6	27	13.1	4	10.0	2	3.1
有価証券デリバティブ	3	0.2	4	0.4	2	0.6	3	1.5	1	2.5	-	-
金融先物デリバティブ	27	1.9	31	3.0	25	8.0	15	7.3	1	2.5	1	1.6
CFD	5	0.3	1	0.1	13	4.2	3	1.5	7	17.5	-	-
その他のデリバティブ	-	-	1	0.1	1	0.3	-	-	1	2.5	-	-
暗号資産デリバティブ	-	-	-	-	2	0.6	-	-	-	-	-	-
商品関連デリバティブ	3	0.2	8	0.8	4	1.3	1	0.5	-	-	-	-
第2種関連商品	7	0.5	14	1.3	2	0.6	1	0.5	-	-	1	1.6
ラップ	13	0.9	2	0.2	3	1.0	2	1.0	-	-	-	-
先物オプション	2	0.1	3	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-
STO	1	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	806	56.3	558	53.8	46	14.7	23	11.2	-	-	-	-
合計	1,431	100	1,038	100	312	100	206	100	40	100	64	100

※1. 有価証券デリバティブは株価指数先物取引等です。金融先物デリバティブには、FX（外国為替証拠金取引）や通貨オプション取引を含みます。CFDは差金決済取引のうち主に株価指数証拠金取引に関するものです。その他のデリバティブには通貨スワップ取引や金利スワップ取引を含みます。第2種関連商品は集団投資スキーム取引等（匿名組合ファンドの募集等）を指します。

2. 当センターの対象業務ではない事項に関する相談も商品の種類に応じて分類しています。

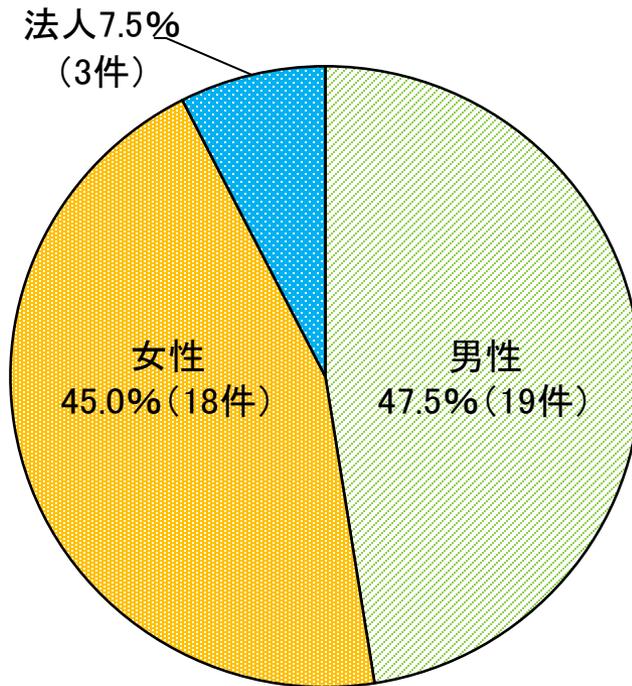
概況：

商品別の内訳では、相談及び苦情においては株式の割合が高く（それぞれ28.0%、42.0%）、あっせん申立てでは、債券のうち仕組債の割合が高い状況（30.0%）であった。

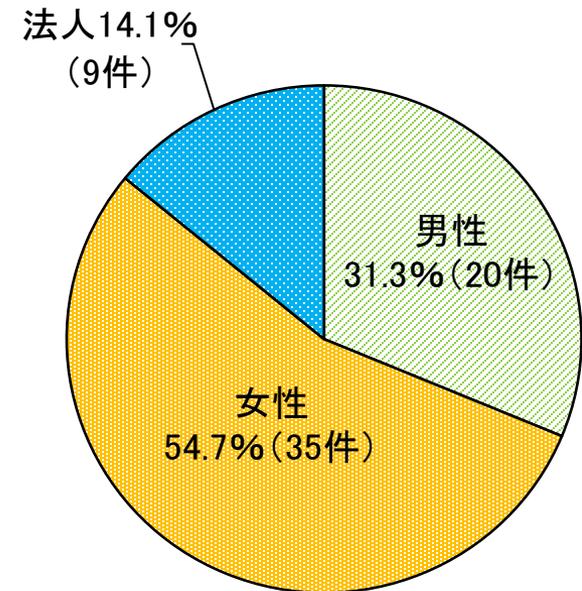
## 4. 2025年度4～6月のあっせん申立てについて

### (1) あっせん申立者の個人(男/女)・法人別状況

< 2025年度4～6月(40件) >



< (参考)2024年度4～6月(64件) >



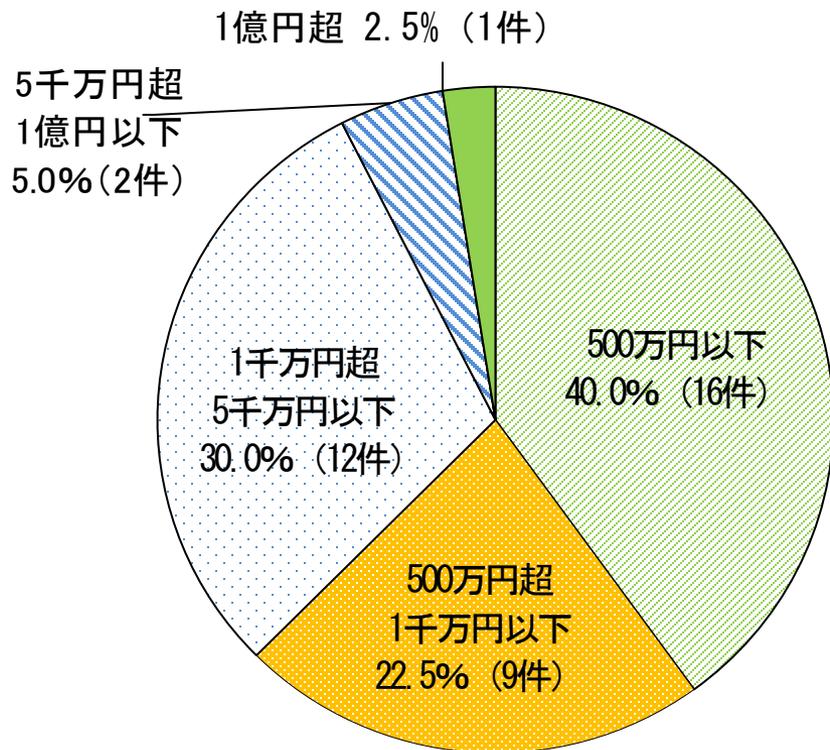
#### 概況:

あっせん申立ての内訳は、男性47.5% (19件)、女性45.0% (18件)、法人7.5% (3件) となった。個人からの申立てが大勢を占める状況に変化はないが、法人からの申立て割合は減少した。

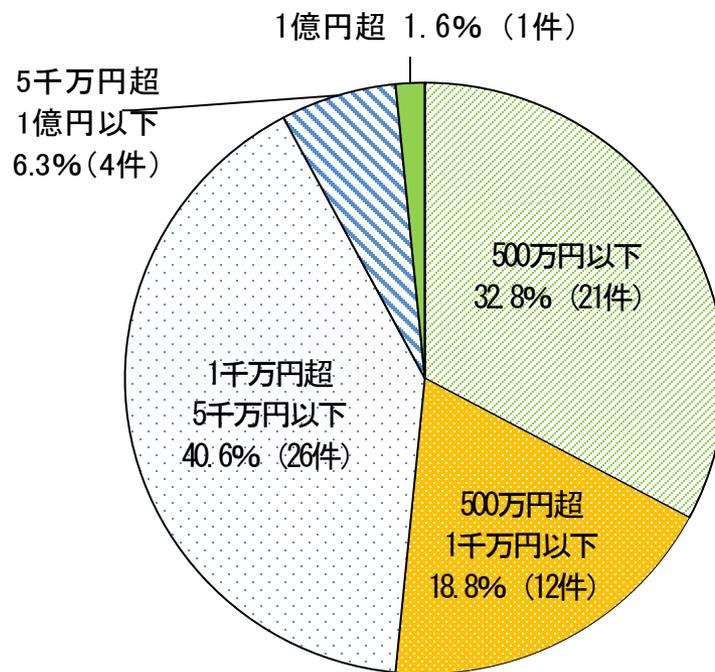
## 4. 2025年度4～6月のあっせん申立てについて

### (2) あっせん申立てにおける請求金額

< 2025年度4～6月(40件) >



<(参考) 2024年度4～6月(64件)>



概況:

あっせん申立ての請求金額は、1千万円以下が62.5% (25件) と過半を占めた。「1千万円超 5千万円以下」30.0% (12件)、「5千万円超 1億円以下」5.0% (2件)、「5億円超」2.5% (1件)の申立てがあった。なお、100万円以下の割合は17.5% (7件)であった。

## 5. 2025年度4～6月のあっせん終結事案について

### (1) 概況

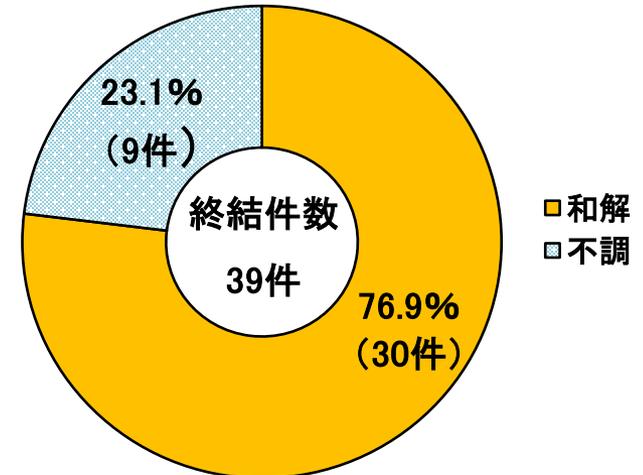
	2025年4～6月	2024年4～6月
期初未済件数	54	85
新規申立件数	40	64
終結件数	39(0)	64(2)
期末未済件数	55	85

※( )内は取り下げ等の件数。

### (2) あっせん開催回数(取り下げを除く)

	2025年4～6月 (39件)	2024年4～6月 (62件)
1回	37	56
2回	1	6
3回	1	-
4回	-	-
平均開催回数	1.08	1.10

(参考)終結結果

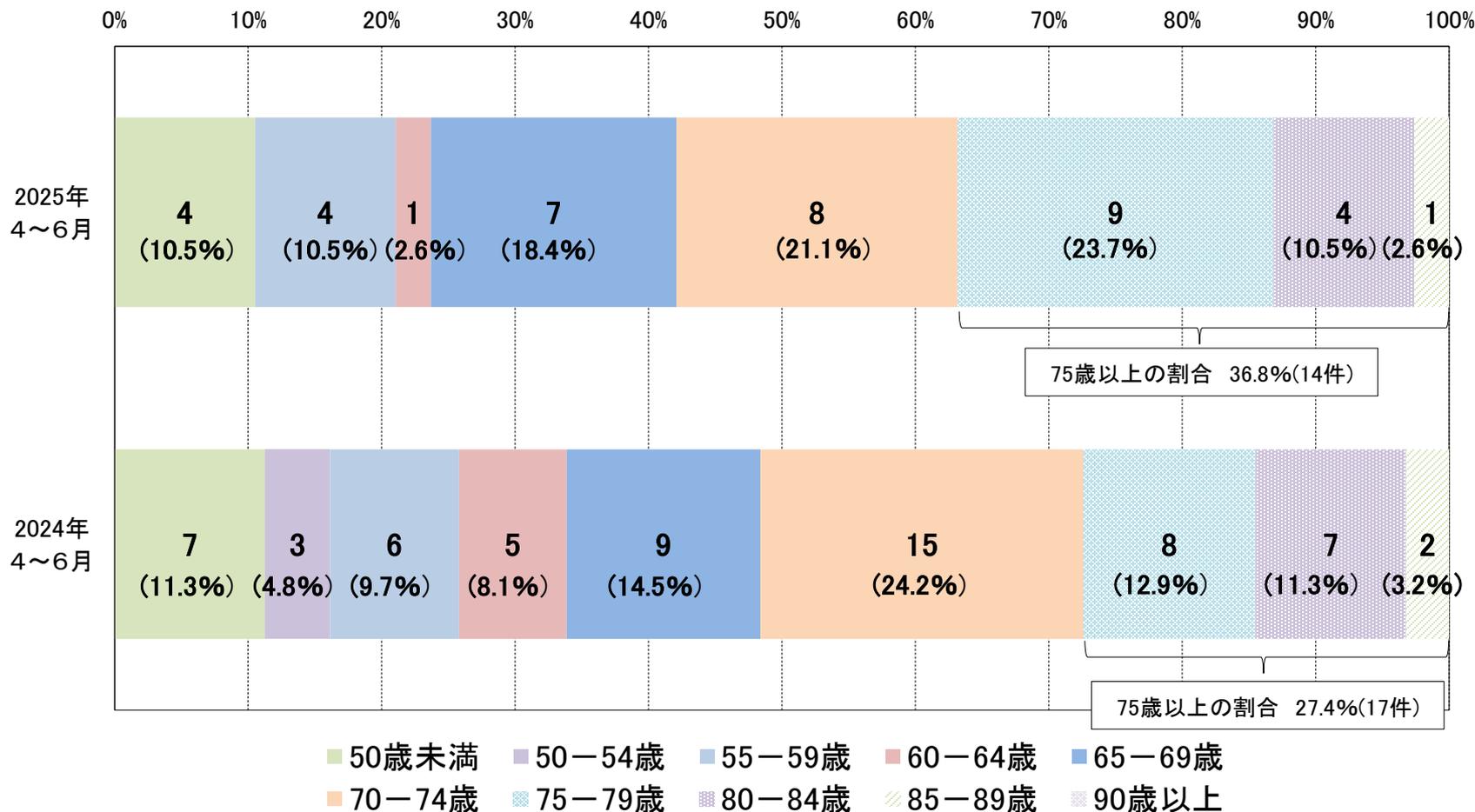


### 概況:

2025年度4～6月に終結したあっせんの件数は39件であった。その内訳は、和解30件、不調9件で取下げ等はなく、終結件数に占める和解件数の割合(和解率)は76.9%(前年同期72.6%・取下げ等を除く)であった。あっせん開催回数は、1回の事案37件、2回の事案1件、3回の事案1件、平均開催回数は1.08回(前年同期1.10回)であった。

## 5. 2025年度4～6月（法人を除く38件）のあっせん終結事案について

### (3) 年齢別内訳



概況：

2025年度4～6月の終結事案（個人38件）における申立人のうち、75歳以上の高齢者の割合は36.8%（前年同期は27.4%、17件）であった。